



Tsutaya SHARE LOUNGE アプリ 施設予約 / 確認機能を主とした UI 改善

担当： リサーチ /UI 改善

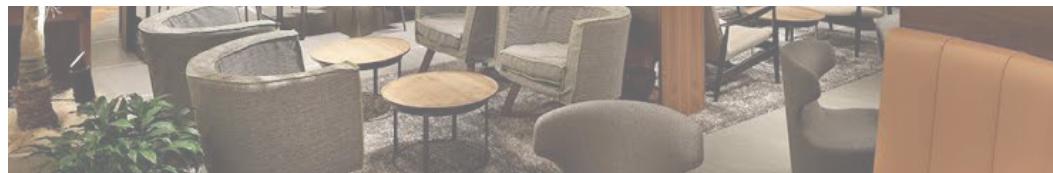
ツール： figma

私自身がよく利用する「Tsutaya SHARE LOUNGE」の UI 改善を考えてデザインしました。今回は UI 全体の大幅な変更は、既存ユーザーにとってはかえって使いづらくなってしまう可能性があると考えたため、全体ではなく、自身の経験から「よく使う機能」かつ「使いにくい」と感じた一部の機能にフォーカスを当てて改善案を考えました。

The image shows two side-by-side screenshots of the Tsutaya SHARE LOUNGE mobile application. Both screens feature a purple header bar with a bell icon and the text 'NEW シェアラウンジアプリで予約&決済すると通常価格より10%OFF！' (New! When you book and pay through the Share Lounge app, you get 10% off the regular price!).

Left Screen (Booking Screen): This screen displays the '本日の予約' (Today's Reservation) section. It shows a thumbnail image of a lounge area at '二子玉川 萬屋家電' (Nishi-Shinjuku Manshu Electric). Below the image, it specifies 'チェックイン' (Check-in) at 9:00 and 'チェックアウト' (Check-out) at 16:00, with a '予定金額' (Estimated Price) of ¥2,000-. A note indicates that the QR code for check-in can be used from 15 minutes before the reservation. There are two main buttons: a purple '利用予約する' (Book Now) button and a white '会員証表示' (Show Membership Card) button.

Right Screen (Confirmation Screen): This screen shows a large QR code with a purple border. Above the QR code, there is a note: 'チェックイン機にQRコードをかざしてください' (Please scan the QR code with the check-in machine). Below the QR code, there are two buttons identical to the ones on the left screen: '利用予約する' (Book Now) and '会員証表示' (Show Membership Card).



自分が使いにくいと思った既存サービス



「SHARE LOUNGE」

※スマホ版のみ

「SHARE LOUNGE」は、TSUTAYA が運営する有料ラウンジベース「SHARE LOUNGE」の利用者向けスマートフォンアプリです。このアプリでは、ラウンジの利用予約やチェックイン、混雑状況の確認、各店舗の情報閲覧ができるほか、会員情報の管理やポイントの確認も可能です。



ホーム画面
(予約とその確認など)



店舗検索画面



お知らせ確認画面

私の使い方

店舗検索・予約

予約枠「○」なのに選択できない
店舗未選択時には「予約ボタン」が
隠れてしまう

チェックイン・施設利用

チェックイン QR コードどこ??
チェックイン 15 分前からしか表示されないのは
どこに書いてあった??

チェックアウト・退店

退店は比較的スムーズ
チェックインと同じプロセスで退店 QR コードを
表示させることができるため、チェックアウトは
チェックインができればなんとかできる。

事前予約機能「スマートチェックイン」を もっと分かりやすく”スマート”にする

使い慣れて機能や施設のルールを理解するのではなく、初めての人や頻繁に利用しないユーザーにも
分かりやすい「スマートチェックイン機能」にアップデートする。これにより、アプリを通じて施設の利用がさらに
スムーズになり、気軽に利用しやすいという印象を高めることを目指します。

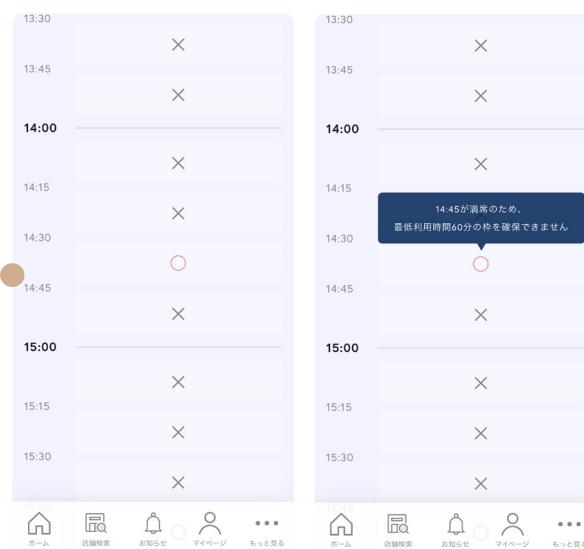
原因を細分化 / 深掘り - チェックインまでの利用フローから考える -

利用店舗選択後



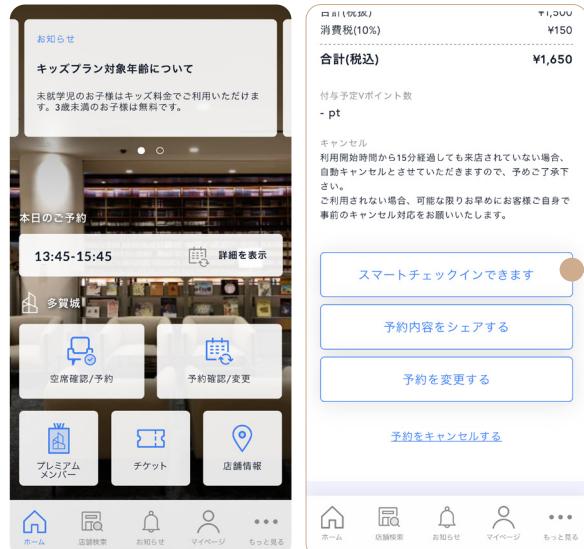
予約をするにはまず、アプリ開いた後に「店舗検索」から利用予定の店舗を選ぶ必要がある。デフォルトは「店舗未選択」状態。

利用プラン / 予約時間の選択



時間的に過ぎている部分も表示され、現在時刻までスクロールをする必要がある。「○」なのに選択できない理由がタップしないと出てこないため、「押せなかった」と勘違いして2回押してしまう。

予約完了後ホーム画面 QR コード表示まで



予約詳細から「スマートチェックインできます」をタップするとチェックインに必要なQRコードが出てくると思いきや、「スマートチェックインの使い方」が表示されて困惑してしまう。



画面 / 機能においてミスリードが多いのでは??

「選べると思ったら選べない」「思っていたものと違うものが表示された」といったユーザーエクスペリエンスの心理的な部分が「使いづらい」に繋がっていると仮説

原因を細分化 / 深掘り - 視覚的要素から考える -

注目したい項目が分散するような配置

ホーム画面では、写真が中央に配置されているため、オブジェクトの大きさに対して「お知らせ」が目立ちにくい印象を受けます。また、写真に選択した店舗名が重なっており、文字の大きさが小さいため、視認性が低く見づらいと感じることがあります。



本日のご予約」には日時のみが記載されているため、下に表示されている店舗での予約であることを紐付けて確認するのが少し分かりづらいと感じました。

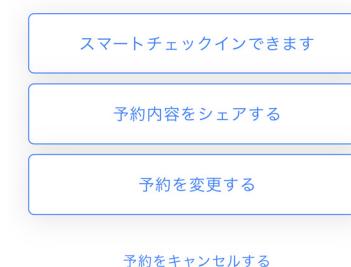
文字にぼかしが被っている

ボタンのぼかしエフェクトが被って、「予定金額」の文字が他の項目名と比較して、見えづらくなっている。また、「詳細まで表示するか」の切り替えにおいて、1項目しか差がなかったで隠さなくてもいいのではと考えました。



言葉の表現の違い

「スマートチェックイン」の使い方紹介についてのページに飛ぶのであれば「スマートチェックインの利用方法」などに変更する必要があるなど、言葉のニュアンスを意識したいと思いました。



類似機能で使いやすいと思ったプロダクトと比較

予約確認 / QR コード表示

一目で予約内容 / 予約確認ができる

画面に予約の QR コードが表示されているため、スムーズにチェックイン機にかざすことができます。また、ラウンジが時間制であることを考慮し、予約詳細に時間を強調する表示方法が分かりやすいのは真似したいと思いました。



デザインで意識すること

いざチェックインする時に焦らないように
予約詳細 / 確認は大きく表示させる

予約フォーム

必要な選択肢に絞る / 理由を出す

すでに過ぎている時間は選択できない仕様となっており、ユーザーが選択時に一つひとつ確認する手間が軽減され、より効率的に選択できるようになっています。

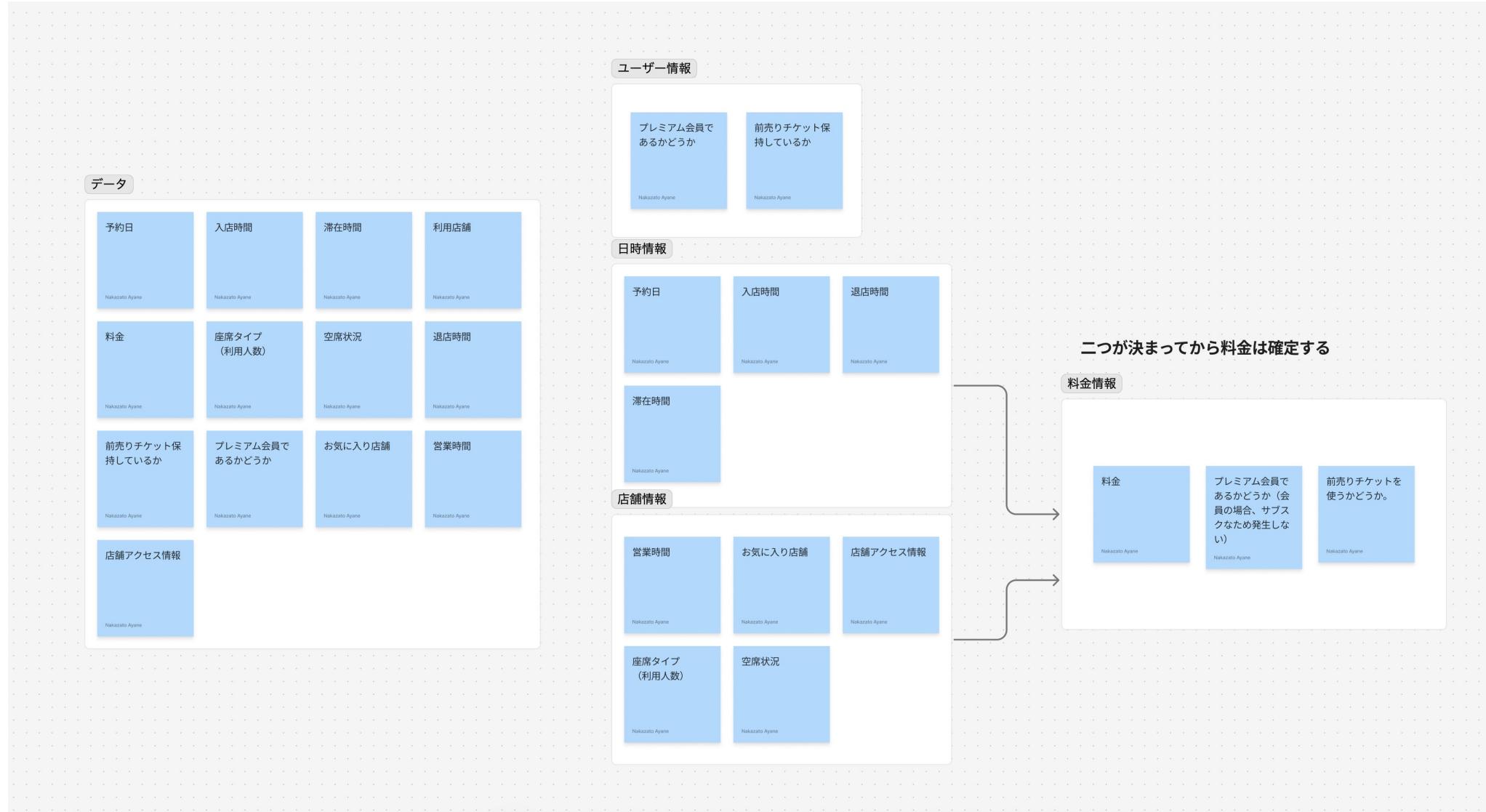


デザインで意識すること

「時間」「プラン」「人数」など入力情報が多いからこそ、
比較しやすい、見せ方

データ / 情報の整理

予約フォームを設計する際に必要なユーザーの入力や選択に関わるエンティティを整理



UI 改善案 - ホーム画面 -

Before



\ After /



Point

01 予約カードの表示

ホーム画面に本日分の予約が一目で分かるような予約カードを大きく配置し、予約時間以外にも店舗や金額といった詳細を簡単に確認できるようにしました。また、チェックイン QR コードの表示も紐付け、入店時のアプリ操作の効率化を目指しました。



QR コードはチェックイン 15 分以上前に場合は QR コードアイコンをぼかして利用不可なことを伝える。QR コードはチェックイン時にアイコンをタップすることで表示ができる。

Point
02

何ができるか分かりやすく

「プレミアムメンバー」や「チケット」といった単語だけでのボタン表示ではなく、「ここを押せば何ができるか」を分かりやすいように表現し、ユーザーの予測可能性を高めるよう図りました。

Point
03

近くの店舗の混雑状況を把握

「空席検索」ではなく、より直感的な表示に変更することで、ユーザーが「近くの店舗でここが空いているなら行こう」と気軽に意思決定できるようにしました。これにより、実際の来店や利用に直結しやすく、ユーザー行動を促進する設計を目指しました。

UI 改善案 - 予約入力画面 -

Before



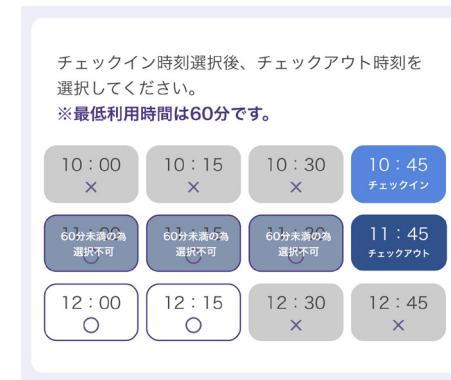
\ After /



Point

01 予約時間の見せ方を改善

チェックイン時間から 60 分以内は選択できないことが直感的に伝わるようデザインを工夫しました。縦スクロールが増えないよう余白を抑えたブロック構成とし、視認性と操作効率の向上を図りました。現時刻前の時間は選択肢に表示されない設計を想定しています。



Point

02 店舗変更を予約画面でもできるように

従来は、予約入力画面で店舗を選び直せず、ユーザーは一度ホームに戻って店舗を再検索する必要があり、手間の要因となっていました。そこで、予約入力画面からも店舗を変更できる導線を設け、操作性と利便性の向上を図りました。



UI 改善後の利用フロー - 予約完了まで -

- 改善 UI
- 既存 UI

アプリ起動

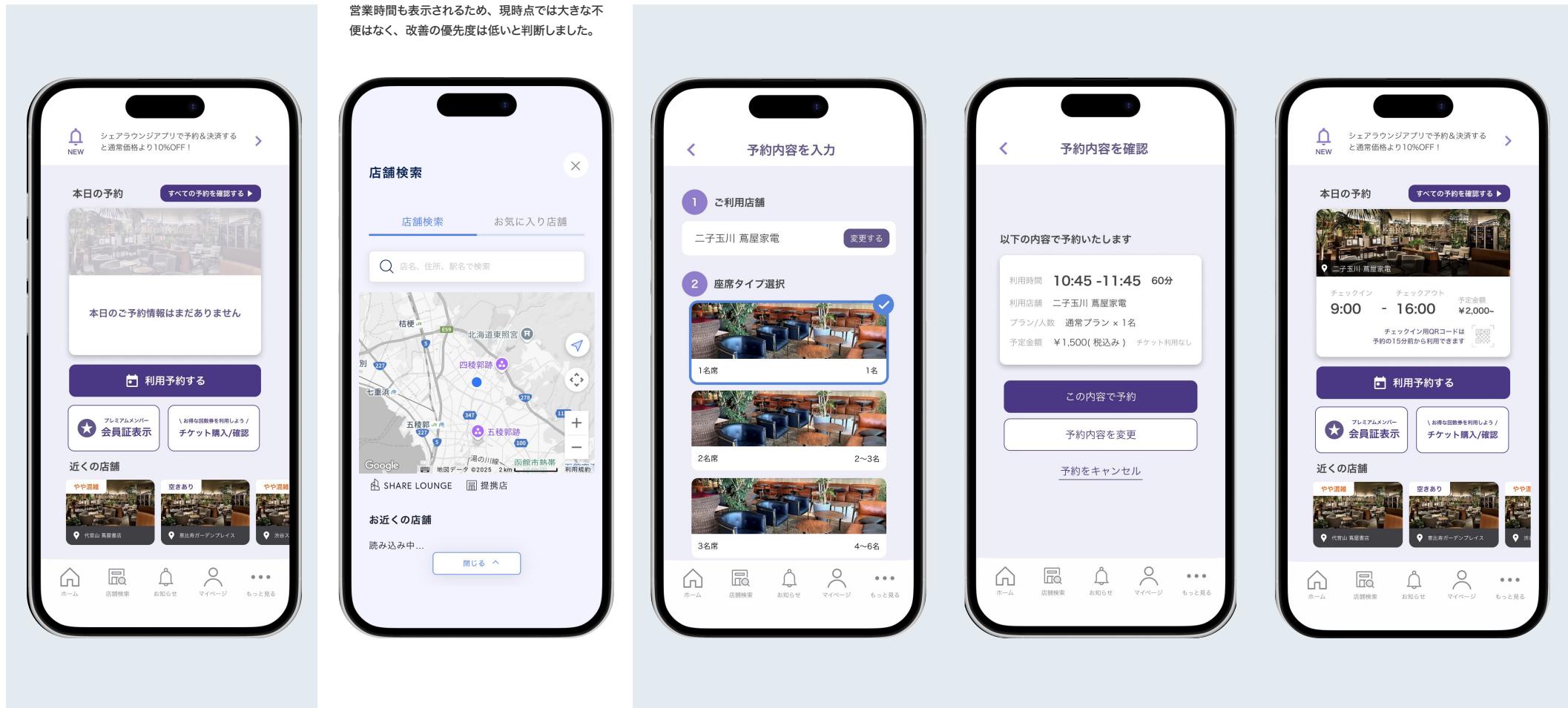
利用店舗選択

予約内容を入力

予約内容確認

予約完了

店舗検索画面では、「お気に入り」「近くの店舗」「検索」から予約店舗を選べ、検索結果にアクセスや営業時間も表示されるため、現時点では大きな不便はなく、改善の優先度は低いと判断しました。



UI 改善後の利用フロー - チェックイン / チェックアウトまで -

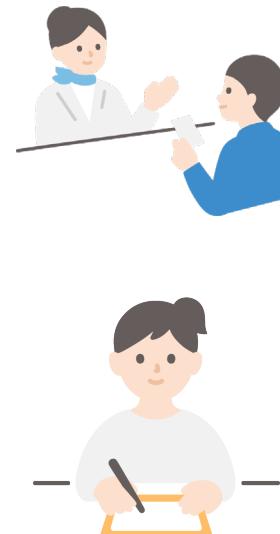
- 改善 UI
- 既存 UI

チェックイン

施設利用

チェックアウト

「チェックインできます」になつたら、QR コードをチェックイン機にかざす。



チェックアウトの QR の表示は、チェックインのプロセスと同じ。
チェックイン後に退店 QR コードの表示可能になることを想定。

